



FACT FILE

協会創立▶1964年
エンブレム▶雲間からもれる日光
チームネーム▶Lelos レロス
ウェブサイト▶www.rugby.ge

f /GeorgianRugby
t @GeorgianRugby
i @officialgeorgiarugby

RWC RESULTS

1987 出場せず
1991 出場せず
1995 出場せず
1999 出場せず
2003 プール戦敗退
2007 プール戦敗退
2011 プール戦敗退
2015 プール戦敗退

HEAD COACH

ミルトン・ヘイグ
Milton Haig



1964年2月6日、NZ生まれ。2012年1月からジョージア代表を率いている。現職に就く前はNZのカウンティーズ・マヌカウのディレクター・オブ・ラグビー。コーチングキャリアは豊富だ。

現役時代はSH。世界を放浪しながら南アフリカやイングランドのクラブでプレー。コーチングの道に進んでからは、NZのクラブや地域代表のアシスタントコーチとして選手たちを指導してきた。U21 NZ代表やマオリ代表のアシスタントコーチ経験もある。

HISTORY

歴史

チームの愛称は「レロス」。かつてはソビエト連邦の一部だった人口約400万人の小さな国には「レロ」というラグビーに似た民族スポーツが古くからあったため、同国代表はファンたちにその愛称で呼ばれている。

1992年に国際ラグビーボード(現ワールドラグビー/国際統括機関)に加盟し、国際舞台へ。

ライバルであるロシア代表との試合を首都トビリシで開催した際には、6万人の観客を集めたこともある。格闘技が盛んな土地柄。走る肉弾戦も多くのファンに好まれている。

ヨーロッパネイションズカップでは2011年から6連覇を果たした。ユース世代からの計画的な強化と海外コーチ招聘の成果が出たもの。世界のラグビー界の中で、確実の自分たちの地位を築きつつある。

国内リーグもあるが、トップレベルの選手たちはフランスなど他国リーグでプレーしているケースも多い。

ROAD TO RWC 2019

近年の足どり

ラグビーワールドカップには2003年大会が初出場。同大会では勝利を挙げることは出来なかったが、2007年大会ではナミビア代表相手に初勝利、2011年大会でもルーマニア代表に勝って2勝目を手にし、進化を感じさせた。

世界を驚かせる飛躍を見せたのは2015年のラグビーワールドカップだ。プール戦でトンガ代表とナミビア代表に勝ち、プールCでニュージーランド代表、アルゼンチン代表に次ぐ3位となったのだ。特にトンガ代表相手に体のぶつかけ合いで負けなかった試合は見応えのある80分に。17-10という接戦をものにして実力アップを周囲に知らしめた。2019年大会への出場権も手に入れ、胸を張って凱旋した。

ニュージーランド人の指揮官、ミルトン・ヘイグ監督が腰を据えて強化してきたチームはラグビーワールドカップ2015後も安定感を増している。FWはさらに強化され、2016年11月に日本代表と対戦したときも惜敗したが(22-28)、FW

のセットプレーでは圧倒した。

STYLE

戦力とプレースタイル

2015年のラグビーワールドカップで次回大会への出場権を獲得するというハードルをクリアしたヘイグ監督はそのまま任務を継続させ、2019年大会では8強入りをターゲットに強化を進めている。

同監督は現職に就いた2011年以来、FW一辺倒だったジョージア・スタイルに変化をつけようと、チームのオプションを増やそうとしてきた。それが順調に進んでいるとは言い難いが、FWの強化もさらに進んでいるから心強い。オリンピックでもメダルを獲得する、レスリングや柔道、ウエイトリフティングからヒントをもらって強みをさらに強固なものにするつもりだ。

フランスリーグでの経験も豊富で、長く同チームの顔として活躍してきたNO8マムカ・ゴルゴゼ(71キャップ)が代表チームからの引退を表明したため、新たなリーダーが求められるものの、ユース代表の強化が順調に進められているため将来の展望は明るい。

PLAYERS TO WATCH

SH
バシル・ロブジャーニゼ
Vasil Lobzhanidze

フランスのトップ14、ブリープでプレーする若きSH。2015年2月、ドイツ相手に初キャップを獲得したときには、まだ18歳。同年のRWCで史上最少出場を果たした。戦術眼が素晴らしく、周囲を動かす力も。長く、同チームの9番を背負っていく存在だ。



FB
メラブ・クビリカシビリ
Merab Kvirikashvili

2017年2月のドイツ代表戦で同国史上初の100キャップに到達した。ラグビーワールドカップには2003年大会から出場。もともとSHとしてプレーしていたが、チーム事情により、SO、FBに転向した。テストマッチ通算805得点も2位を大きく離して同国史上最多である。



RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

v オーストラリア代表
対戦なし

v ウェールズ代表
対戦なし

v フィジー代表
対戦なし

v アメリカ地区2
-